

令和6年8月23日(金)

各教育関係者 様
美術科教諭 様

神奈川県公立中学校教育研究会美術部会 会長 大野 郁子
教育研究会美術科部会中地区大会 運営委員長 木村 一彦

最終案内



第51回 神奈川県公立中学校 教育研究会美術科部会研究大会 中地区大会

【大会テーマ】

深める

ICTを活用した学びが当たり前になった現在、実感を伴い、五感を働かせる美術科の学びは今まで以上に重要なものになっています。
その中で子どもの学びが深まる瞬間はどこにあるのでしょうか。
様々な角度から協議し、皆さまとともに深めていけたら幸いです。

○日時： 令和6(2024)年11月20日(水)

12:30	13:00	13:30～	13:50～	15:00～	16:00～	16:30
・受付	・開会式 ・あいさつ ・基調提案	・各分科会へ 移動	・各分科会 発表 ・研究協議	・作品展示 見学	・全体会 ・分科会報告 ・研究部発表	・閉会式

○会場： 平塚市美術館 ミュージアムホール・市民アートギャラリー
(神奈川県平塚市西八幡1丁目3-3)



主催 神奈川県公立中学校教育研究会美術科部会
第51回研究大会中地区大会運営委員会

後援 神奈川県教育委員会 平塚市教育委員会 秦野市教育委員会 伊勢原市教育委員会
大磯町教育委員会 二宮町教育委員会

参加申し込みはこちらからの Google Forms からお願いします。

大会参加者は役員、OB、研究部員、実行委員も含め、右のQRコードより
個人で申し込みをしてください。申し込み期限は 9月30日(月) です。

URL : <https://forms.gle/DyRCcYBovMBWGKRCA>



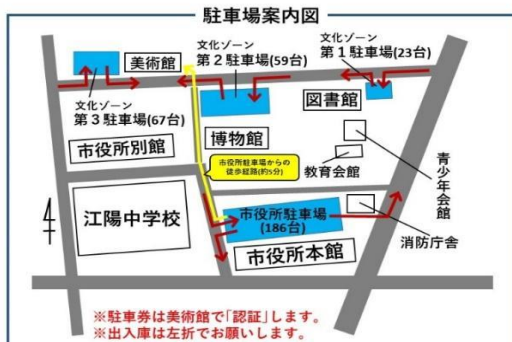
●第1分科会 秦野市	1階：ミュージアムホール会場
「他者の視点から深める」	
<p>今回の研究において「他者の視点」を自分の考えと合わせて、あるいは比べるなどして、新たな見方や考え方に会い、より深い学びを追求する手立てを模索してきた。</p> <p>提案のひとつとして、他者に意図したことを伝えるデザインとはどんなものなのか、ピクトグラム の鑑賞・発案・制作を通して、社会の中の美術のはたらきを考える。相互鑑賞や多くの言語活動を通 して、他者の視点や意見に触れながら考え、よりよいものを生み出していく活動やその方法について 考えていきたい。</p>	

●第2分科会 平塚市	2階：アトリエ会場
「美術と社会のつながりで深める」	
<p>平塚市では大会テーマである「深める」のもと、4校によるリレー方式で授業実践を行ってきた。 伝達手段や表現ツールが時代の変化とともに変化しても、私たちが生徒に伝えたい美術の本質は変わ らないはず。ICT の活用が進む現在、あえて木版や木彫などの手作業による活動を通して、制作過程 にある喜びを体験させるとともに、作品が社会と結びつき生活を豊かにすることに気づかせたい。</p>	

●第3分科会 二宮町	1階：市民アートギャラリー会場
「立体的な見方や考え方を深める」	
<p>中学校美術教育において、立体的な造形感覚を育成し、立体を認識する力を身につけることは大変 重要である。しかし、中学3年間で扱える立体造形表現の題材はせいぜい1～3題材程度で、経験が 少ないために立体構成の特徴を正しく理解しているとは言えない状況がある。空間や体積の認識、形 状、比例、バランス、対称性など立体の基本的な要素を学び、造形感覚を深めさせたいと考え、アル ミ線による立体作品制作の授業を行った。</p>	



- タクシー**
 - ・平塚駅東口改札より「北口」タクシー乗り場。
- バス**
 - ・平塚駅東口改札より「北口バスターミナル」
 - ・4番乗り場「美術館入り口」より徒歩1分。
 - または「コンフォール平塚前」より徒歩5分。
- マイカー**
 - ・車でお越しの方は市駐車場の「文化ゾーン」をご利用ください。



連絡先：研究大会中地区事務局 事務局長
秦野市立北中学校 山崎 裕太
〒259-1307 秦野市横野 101
TEL：0463-75-1717 FAX：0463-75-4223
Mail：t 0788@g.hadano.ed.jp